



《将来に向けた取組方針》

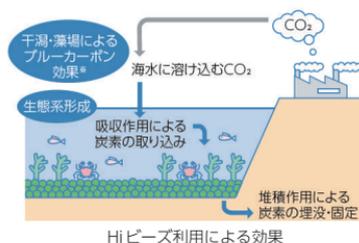
中国電力グループは、お客さまの生活に不可欠なエネルギーを低廉かつ安定的に供給するとともに、「中国電力グループ環境行動計画」および「中国電力グループカーボンニュートラル戦略基本方針」を策定し、生物多様性への配慮など、事業活動に伴う環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。

《具体的取組み事例》

取組み事例 1

【石炭灰製品 (Hi ビーズ) を活用した河川底質環境の改善】

- ・ Hi ビーズは石炭火力発電所から排出する石炭灰から製造するリサイクル製品。
- ・ 海域沿岸、河口の底質の環境改善や港湾の地盤改良等の材料等に活用。また、生物生息環境の改善効果にも寄与。

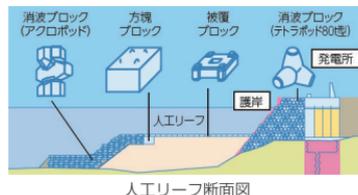


Hi ビーズを用いた干潟を造成し、アサリの個体数の増加や成長促進、Hi ビーズ表面への藻の繁殖を確認

取組み事例 2

【人工リーフの設置による魚介類の生育環境の創出】

- ・ 島根原子力発電所 3 号機に人工リーフ (浅瀬) を設置。海底面に太陽光が届きやすくなり、クロメなどの海藻草類や魚介類が繁殖・生育。
- ・ 「Jブルークレジット」の審査において、2017～2021年の5年間で15.7tのCO₂吸収量が認証され、クレジットとして取得。



取組み事例 3

【石炭火力発電所構内における「ハヤブサ」との共生】

- ・ 新小野田発電所構内で繁殖している「ハヤブサ」の親子を1992年に確認。
- ・ 野鳥の専門家に指導をいただき、2000年に煙突の中段に巣箱を設置。巣箱を利用して、ほぼ毎年2～3羽のヒナが繁殖。



新小野田発電所



地上50mの巣箱で繁殖中のハヤブサ親子